

東京 2020D&I アクション

-誰もが生きやすい社会を目指して-

東京 2020 大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京 2020D&I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの人々が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京 2020 大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京 2020 大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

○本連盟は、2029 年度までに女性理事 40%以上を達成します。合わせて各都道府県連盟にも女性理事の積極的な登用を促進していきます。

○本連盟は、少年から高齢者まで全ての世代の人々が、安全で安心して柔道に参加できる環境をより一層整備し、柔道を通じた健康増進に取り組んでいきます。

○本連盟は、「柔道 for ALL」をテーマに掲げ、視覚障がい、知的障がい、聴覚障がいのある方が、柔道を安全に楽しめる機会を創出し、柔道を通じた心身の健全育成と社会への積極的参加に寄与していきます。

パラリンピック競技である視覚障がい者柔道については、選手強化にも積極的に協力し、パラリンピック競技大会でのメダル獲得を目指していきます。

○本連盟は、海外へ学生ボランティア指導者を派遣し、柔道指導を通じて語学を学び、海外の文化・習慣に触れる機会を創出していきます。

2021 年 8 月 18 日

公益財団法人全日本柔道連盟

会長 山下 泰 裕